

高さ 200m ~ 300m に及ぶマグマの島が出来たが、次の爆発で崩壊したり、波の浸食で消えたりしていたが、各国とももしやの野心があり、我国でも海上保安庁が監視を強化していた。

監視とは別に海上保安庁水路部所属の海洋調査船「第五海洋丸」が水路調査員、気象庁や大学の研究員が同乗して、付近海域の調査をしていたところ、同年 9 月 24 日再び海底大爆発が起こり、これに巻き込まれた同船は沈没、全員が殉職した。

生存者がいないため、当時の状況は全く解らない悲劇でした。



Q：福島県の火山活動について、教えてください？

A：火山活動の最後は福島県が誇る名峰 会津磐梯山 です。

猪苗代湖の北にそびえる磐梯山は磐越西線で郡山から会津へ向かう時、右の車窓か窓一杯に磐梯山が表われ、左の車窓からは猪苗代湖の景観が楽しめる。しかも会津駅に近づく寸前まで磐梯山の偉容を楽しめるのだから嬉しい。次に来た時は SL が牽引する列車が運行する時にしようと思っていたが、残念ながら未だ実現していない。

磐梯山の標高は、つい最近の 2010 年 12 月 27 日、測量し直して改めて標 1816m29cm と発表した。

赤埴山 (1430m)、櫛ヶ峯 (1636m) を含めて「磐梯山」としている、磐梯高原を含めて磐梯朝日国立公園に属する。

磐梯山の由来は、元は磐梯山を「いわはし山」と読み、「天に掛かる岩の梯子」の意味だそうです。九州の高千穂峰のように天孫降臨伝説に基づくモノなのでしょうか。

磐越西線の方が南側で、表磐梯と呼ばれ、山体は整っており優雅な姿をしている。北側が裏磐梯で、噴火による山地が崩壊しており、荒々しい姿を見せる。